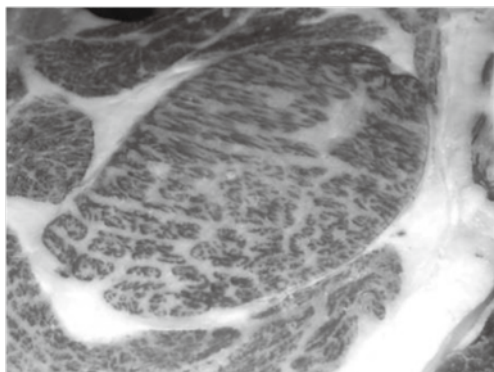


F 1 子牛生産にお勧め！～「芳乃照」～

広島県立総合技術研究所畜産技術センター 育種繁殖研究部 佐藤伸哉 氏

現在畜産技術センターでは 20 頭の黒毛和種種雄牛を繋養し、18 頭の種雄牛について産肉能力検定を行っています。本報では昨年度、サン(脂肪交雑)が非常に多い枝肉を生産した、「芳乃照」を紹介します。



芳乃照枝肉 (BMS No.12)

【最近のF 1 牛肉価格の動向】

和牛肉同様、F 1 牛肉も脂肪交雑は枝肉価格に大きく影響しています。右のグラフは平成 27～29 年に広島市食肉市場で取引された B 2～B 4 の枝肉価格の推移を示しています。価格差が肉質等級により異なり、この 3 年間でその差は大きくなっています。

【「芳乃照」精液の利用】

酪農経営向上の一助に、F 1 子牛生産はどうでしょうか。F 1 子牛では肉質等級が重視されるため、高い脂肪交雑能力を持つ「芳乃照」の精液を活用することで、肉質等級の向上が期待できます。また、本牛の精液の受胎率は、後代検定では 79.5% (31 頭/39 頭) と大変良好な成績を記録しています。現在本牛の精液は、1 本 894 円(税・手数料込)で販売しておりますので是非ご活用ください!!



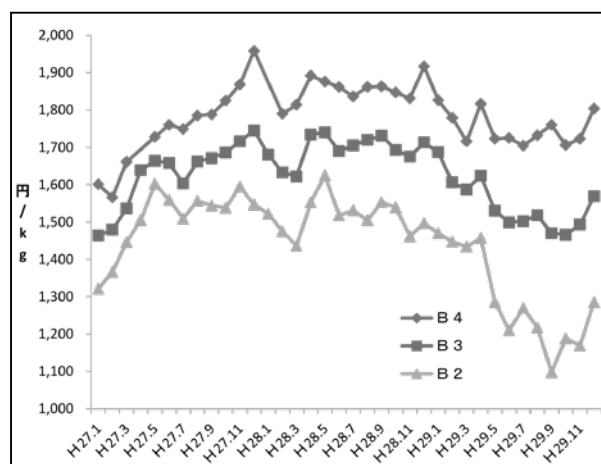
芳乃照

【「芳乃照」のプロフィール】

本牛は、これまでの 24 頭の枝肉成績では、上物率(A 4・A 5 率) 100%、平均 BMS No. が 8.0 で、広島県の歴代最高値を記録している種雄牛です

BMS No.	8.0	
枝肉重量	去勢	433.5kg
	雌	395.1kg
ロース芯面積	64.0cm ²	
バラの厚さ	7.0cm	
皮下脂肪厚	2.1cm	
歩留り基準値	75.4	

枝肉成績 (去勢 12 頭 雌 12 頭)



1代祖	2代祖	3代祖
田安照	安平照	安平
		てるふく
	ことぶき56の5	美津福
よしの1	美津福	谷福土井
		みつふく2
	91やすひろ	9中丸
		第3やすひろ

血統

倉庫開所カレンダー

■営業時間

営業時間		午前	午後
本所・東部 高宮	平日	8:45~12:00	13:00~17:15
本所	土曜日	8:45~12:00	—

平成 30 年 5 月

日	月	火	水	木	金	土
		1日	2日	3日	4日	5日
		本所 東部 高宮	本所 東部 高宮			
6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日
	本所 東部 高宮	本所 高宮	本所 東部	本所 高宮	本所 東部 高宮	
13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日
	本所 東部	本所 高宮	本所 東部	本所 高宮	本所 東部 高宮	本所
20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日
	本所 東部	本所 高宮	本所 東部	本所 高宮	本所 東部 高宮	
27日	28日	29日	30日	31日		
	本所 東部	本所 高宮	本所 東部	本所 高宮		

倉庫・配達に関する問い合わせは 生産振興課(和田)まで ☎ 0824-64-2072

おいしい酪農経営!!

欧州における酪農経営の課題とは？

第 19 回

全国酪農業協同組合連合会 購買部酪農生産指導室課長 たんと やすし 丹戸 靖氏

欧州の酪農家 223 戸に対する酪農経営に関するアンケート結果を見る機会がありましたので、簡単に内容を報告させていただきます。

「変動の激しい乳価に対してどのような備えをしているか?」、という問いに対し「牧場の近代化」「規模拡大」といった牧場運営面の事項が挙げられると共に、「負債の返済」「運転資金の確保」等の資金管理面を挙

げる割合も同様に高くなっていました。酪農経営者にとって、資金管理や危機管理は必須の能力だと考えられているようです。資金管理は全世界共通の課題となっています。

また、酪農経営の課題と計画について、フランスとドイツの代表的な牧場の事例が紹介されていました。人的・金銭的な経営の厳しさを感じさせる内容です。

区 分	フランスの牧場	ドイツの牧場
現在の課題	家族と従業員の生計を立てること(目下の経営が厳しい)。	社長、財務、牧場長の役割を全て一人で行わなければならないこと。
今後 5 年間の計画	①空いている牛床を埋めること。 ②農外所得を得ること。	牧場経営を安定させ、経営継承の準備をする。
計画に関する課題	雇用体制の再編と家族生活の見直し。	ドイツ国内の法規制。

更に今後、対応しなければならない問題として、以下の 3 点を挙げています。資金管理と共に経営戦略の構築が不可欠であることが分かります。

- ①土壌中のチッソとリンの制限
- ②労働力確保の厳しさ
- ③消費者ニーズの多様さ(食品安全性、環境保護、動物愛護)

日本では、①と③はまだまだ実感の無い項目ですが、欧州では避けては通れません。個人的に気になっているのは③です。2020 年の東京オリンピックを契機として、我が国の「食」に関する倫理が指摘されるのでは無いかと、懸念しております。

来月は、オランダで展開している酪農における持続可能性の追求についてです。